私は貝になりたい（1959）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争
製作国 日本
色彩 B&W
時間 113分
初公開日 1959/04/12

【解説】
　元陸軍中尉だった加藤哲太郎の遺言を元に、橋本忍が脚本・監督を担当した。前年に放送された橋本忍脚本のドラマを映画化したもの。橋本にとっては本作が監督デビュー作となる。
　高知で理髪店を営む豊松に召集令状が届く。妻の房江と生まれたばかりの健一を残し、豊松は戦地に赴いた。戦場で発見された二人の米兵を処分するよう命令され、豊松は銃剣を向けて突進する。戦争が終わり家に戻った豊松だったが、戦犯としてMPに逮捕されてしまう。米兵の腕に傷をつけただけだと訴える豊松だったが、軍事裁判により絞首刑を言い渡された。独房に移された豊松は嘆願書を書き続ける。講和条約が結ばれれば無事に釈放されるはずと、巣鴨プリズンの死刑囚たちにも笑顔が戻りつつあった。

【クレジット】
監督 橋本忍　Shinobu Hashimoto
製作 藤本真澄
三輪礼二
原作 橋本忍　Shinobu Hashimoto
加藤哲太郎
脚本 橋本忍　Shinobu Hashimoto
撮影 中井朝一
美術 村木与四郎
音楽 佐藤勝
出演 フランキー堺　Frankie Sakai
新珠三千代
水野久美
笠智衆
中丸忠雄
藤田進
加東大介
南原伸二

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.